

校長室からつぶやき・・・ 『ツイート』新聞



宇美町立宇美南中学校
第22号

文責 校長 熊本 寿美
令和3年8月27日(金)

コロナ禍の始業。チーム南中で助け合い成長する2学期に。

4回目となる緊急事態宣言が発令される中で、今日から2学期が始まりました。コロナの感染状況の困難さに加え、今夏の豪雨では、宇美町においても避難指示が出される状況となり、ひばりヶ丘では、土砂崩落災害が起きています。身近に起きた災害を知り、防災意識を高め、命を守るための学びと備えにしていかなければならないと感じています。

さて、今日から始まる2学期は、進路実現、将来の自立に向けて、学びを深める学期です。強い意志をもって、掲げた目標達成に向けて努力するための時間です。今後の様々な局面に向き合いながらも、自己実現に向けた着実な一歩で前進してほしいと願っています。先生たちも寄り添い「鍛えて・ほめて・励まして」いきます。困難なことや不安なことを乗り越えていくために必要なことは、このチーム南中のチーム力だと確信しています。やわらかい心をもって、互いを認め合ってよりよい関係を育むことです。みんなの力を結集して、南中PRIDEの精神を磨き、互いに助け合い、励まし合って成長する2学期にしていきたいと思います。

セトモノと
セトモノと
ぶつかりつくと
すぐわれちゃう
どっちらか
やわらかければ
だいじょうぶ
やわらかいころを
もちましよう
そうもセトモノ
いつもセトモノ
相田みつを

桃太郎がなぜ、犬、猿、キジという一見バラバラの三者を仲間にしたのか。そこには、桃太郎の明確な戦略がありそうです。おそらく桃太郎は、チームに多様性を取り入れ、ある種のケミストリーを起こそうとしたのではないのでしょうか。

最初は合わないこともあったかもしれませんが、でも、心を開き、認め合うことができれば、個性の違いは、お互いを高め合うきっかけになります。違うから、視野が広がる。発見がある。成長できる。強くなれる。これからの多様性の時代に、私たちが学ぶべきことがそこにはあるような気がします。違うから人は人を想う。 JT

読書サポータービブリオバトル 優勝 松永莉希さん

南中3名のサポーターが挑戦！見事なパフォーマンスを披露しました。松永さんの豊かな表現力と明瞭な主張点が評価されています。



小中連携学習会



PTA 美化作業



トイレ掃除

生徒会ボランティア活動

夏休みも、小中連携学習会やPTA 美化作業、トイレ掃除等のボランティア活動に参加してくれた南中生の姿が輝いていました。「やって良かった」と、達成感の笑顔がステキですね。

「鍛えて・ほめて・励まして」 南中生のよさや頑張りが輝く学校づくり